

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 1

(会社名・団体名等)

中勢森林組合

<p>連絡先等</p>	<p>(住 所) 〒515-3133 (担当部署等) 理事参事 山崎 昌彦 (電話番号等) TEL : 059-262-3020 FAX : 059-262-5356 (URL) http://chusei-forest.jp</p>
<p>製品等の名称</p>	<p>「探検ダイスキ」地域の間伐材を使用した屋内型の木製遊具</p>
<p>製品・取組の概要</p>	<p>取組み概要：地域の間伐材を有効利用していく為に、新たな商品開発と市場開拓を目的に地元の短期大学と連携協定を締結し、保育園・幼稚園・商業施設のキッズスペース向けの商品として商品開発しました。</p>
<p>製品開発・取組のきっかけ</p>	<p>開発する商品が幼児向けの商品であることから、専門課程（保育科）で幼児学等を学ぶ学生さんの気持ちや意見をデザインに反映することで、子供たちが楽しく遊べ、学べる製品が開発できると考え取組みました。</p>
<p>製品・取組の内容・特徴</p>	<p>この製品は、ジャングルジム、すべり台、ボルタリング、探検スペースを組み合わせた遊具で、基本ユニット 45 cm角のユニットの組み合わせとオプションパーツの組み合わせにより構成されており、設置スペースに応じた大きさ、形にカスタマイズできるのが最大の特徴です。</p>
<p>間伐材の利用量</p>	<p>地域産（津市）のヒノキ 0.38 m³</p>
<p>取組による効果等</p>	<p>今回の取組みが林学連携による取組みということで、地域マスコミにも大きく取り上げられたことや、設置スペースやユーザーサイドの思う形にカスタマイズできることから、地元の商業施設や地元の保育園等から問い合わせがきており、今後の販路拡大に期待が持てる状況です。</p>
<p>製品等の写真、図表</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">木製遊具「探検だいすき」で遊ぶ子供たち 高田短期大学内「こども園」にて</p>

製品づくり・利用部門

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 2

(会社名・団体名等) **株式会社 Regal Guitar Instruments**

連絡先等	(住 所) 〒370-0826 群馬県高崎市連雀町 102 小泉ビル 3F (担当部署等) 製造技術部 (電話番号等) TEL : 027-381-5554 FAX : (URL) www.regtin.co.jp
------	--

製品等の名称	オールハンドメイドフルアコースティックギター CFG-02
製品・取組の概要	日本国内における木材自給率の低さは建築資材として利用が減ったことが原因の一つであることから、100年後の森林が枯渇しないよう様々な面から消費する仕組みを作る必要がある。弊社は生活用品ではない嗜好品を日本で製作し輸出することで新たな需要の開拓を目指し本製品を製作している。
製品開発・取組のきっかけ	開業以来、国産木材にこだわりギターを製作していますが、間伐材は増える一方であることから様々な弊社製品に取り入れてふるさと納税返礼品として提供をしてきた。興味からギターの材として利用したところ現場で使える音色であったため製品化した。
製品・取組の内容・特徴	100%国産材(90%広葉樹、10%針葉樹)でギターは製作できる。県内の森林の分布は広葉樹50%針葉樹50%であり、広葉樹は50年以上備蓄木材が存在する。長期在庫を製品化する事で山林の管理も進めやすくなることになる。また、間伐材や森林に関する展示やワークショップも月2回以上実施している。SDGs15を推奨。 群馬県工業振興課の「29年度グッドデザインぐんま」にて「若手起業家特別賞受賞
間伐材の利用量	本製品のみでは年間500kgほど
取組による効果等	NHK「あさイチ！」出演、ほかテレビ東京電話取材、各新聞過去2年10回以上掲載 NY国連本部にて展示、レセプションパーティに参加
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>製品の写真</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>国連本部ロビーSDGs パネル</p> </div> </div>

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 3

(会社名・団体名等) **(有) ナベ企画**

連絡先等	(住 所) 〒320-0836 栃木県宇都宮市大和3丁目2-21 (担当部署等) (電話番号等) TEL : 090-1400-0263 FAX : 028-688-0883 (URL) http://www.woodbank-house.net
------	--

製品等の名称	間伐材ウッドデッキ (90 角二つ割パネル)
製品・取組の概要	杉・桧の国産材は腐ることから、屋外での需要はあまりありませんが、防腐剤加圧注入処理を施すことで、耐久性能が 20 年以上ある木材となります。自社では良好な防腐処理を行うため 9 cm の正角材を二つ割りにして、芯去り材とすることで干割れを防止し、防腐面積を増やすことを考案し、二つ割り材を縦使いでパネル化し、今までにない耐久性能を有する、間伐材ウッドデッキの製品化に取り組んでおります。パネル化には自社が開発した、角材に精度の高い穴をあけ穴と同系の丸棒を製作し貫通させ、角材を物理的にパネル化する「クロスポール工法」を使いパネルごと防腐処理を施すことで、高耐久のパネルとしました。
製品開発・取組のきっかけ	1998 年間に東北自動車道の大谷 PA に設置する間伐材伐材遮音壁の設計の依頼を受け、林業の衰退での人工林の荒廃を知り、小径間伐材の建築資材での利用技術開発を続けております。昨年 2 月に特許を取得した「クロスポール工法」の普及のために、間伐材ウッドデッキの製品化を開始いたしました。多くの林山地にこの技術を波及させたく思います。
製品・取組の内容・特徴	小径間伐材の有効利用のために開発をした製品ですので、小径間伐材を木質バイオマスでなく建材として大量に利用出来れば、CO2 の固定ばかりでなく森林整備 (間伐) の促進につながり森林吸収増加にも貢献します。国産材に防腐処理をして屋外利用を可能にすることは、今までにない新たな需要を創出し、林業の活性化に貢献し、木材の価値を高めることができます。
間伐材の利用量	ウッドデッキ 1㎡ で 0.09㎡ の杉・桧の間伐材を使います。今年、約 40㎡ のウッドデッキを作りましたので、利用した間伐材の材積は、3.6㎡ になります。
取組による効果等	小径間伐材は利用が難しいことから、木質バイオマス発電の燃料となるのが主流ですがこの利用方法は木の価値を大きく上げてしまい、長い年月をかけて貯めた CO2 を瞬時に大気中に戻してしまいます。小径間伐材に防腐処理を施し木材を屋外で利用することで、今までにない需要を掘り起こし木材の価値を向上させ、CO2 の固定にも貢献する効果があります。
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真1の説明 ウッドデッキ端部の写真 9センチの角材の2つ割りをパネル化。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真2の説明 桧の間伐材のウッドデッキパネルにしていますので表面にビス等は出ません。</p> </div> </div>

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 5

(会社名・団体名等) **有限会社 ナベ企画**

連絡先等	(住 所) 〒320-0836 (担当部署等) ウッドバンクハウス事業部 (電話番号等) TEL : 090-1400-0263 FAX : 028-688-0883 (URL) http://www.woodbank-house.net
------	--

製品等の名称	クロスポールフェンス (間伐材パネルフェンス)	
製品・取組の概要	2016年の間伐材コンクールで特別賞をいただきました「クロスポール工法」が特許取得できましたので、この工法を利用した間伐材プロダクツの開発をしております。クロスポール工法は間伐材の屋外利用のために開発した工法です。接着剤を使わず間伐材に丸棒を貫通させ物理的に間伐材パネルを作り、パネル丸ごとの防腐剤加圧注入が可能となり、高耐久性の間伐材パネルを作ることができるようになりました。このパネルで間伐材ウッドフェンス作りしました。	
製品開発・取組のきっかけ	荒廃した人工林の木は小径木ですので間伐される木も小径木です。小径間伐材の建築資材の利用は困難とされ、建築資材の利用方法は確立されておられません。自社は23年前に高速道路に設置する間伐材遮音壁の設計の依頼を受け、これをきっかけに小径間伐材の防腐処理とパネル化に取り組み、建築資材としての利用技術を開発しております。	
製品・取組の内容・特徴	木の塀は軽量ですので、コンクリートブロックや石積の塀とは異なり地震時に崩落はしません。軽量ですので、簡易な基礎でも沈下をすることがないことから基礎のコストを大幅に削減することができます。防腐処理を行いパネル化した間伐材は、直接地中に埋設しても耐久性があり、間伐材パネルは構造材と仕上げ材を兼ねますからこの点でもローコストになり、高い塀を作っても可能で、地震時にも崩落はしませんから減災効果も抜群です。今年大阪北部で起きた地震でブロック塀の危険性が大きな社会問題となり、東京都の小池知事は、ブロック塀を撤去し国産材を利用した木の塀の採用を検討していますから、間伐材利用に弾みがつくのではないのでしょうか。	
間伐材の利用量	今年製作した間伐材フェンスの材積は、約10 m ³ です。	
取組による効果等	小径間伐材の多くが木質バイオマス利用となり価格を大きく下げてしまっています。小径間伐材をフェンスとして利用することで木の価値を高めCO2の固定にも貢献できます。木のフェンスは軽量で地震時にも崩落することがありませんので減災効果も期待できますから、デザイン性が高いクロスポールフェンスは、ブロックから木への転換を促進するのではないのでしょうか。	
製品等の写真、図表	 <p style="text-align: center;">写真1</p>	 <p style="text-align: center;">写真2</p>
	道路と家を隔てる目隠しを兼ねた高い2mのウッドフェンスです。60度の角材と45度の角材を交互にしたリブデザインです。	ウッドフェンスは軽量ですので大谷石の擁壁に負担をかけずに設置することができます。桧の芯付き材60度で製作

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 7

(会社名・団体名等)

株式会社 ニジユニドシー

連絡先等 (公表可能な範囲で ご記入下さい)	(住所) 〒381-0015 (担当部署等) (電話番号等) TEL: 026-219-4150 FAX: 026-244-2208 (URL) http://22doc.jp
------------------------------	---

製品等の名称	炭を使った空気清浄機 木製花器
製品・取組 の概要	木製花器は杉、桧、赤松の間伐材を使用。 空気清浄機の器は木曽桧の間伐材を使用中に入っている 炭は土佐の備長炭を使用。
製品開発・取組の きっかけ	30年に渡り園芸のビジネスの中で山林の仕事が あり山の荒れた状態、又間伐材が使われる事になり 状態を目の当たりにしてからです。
製品・取組の 内容・特徴	間伐材を使ったエコ商品である事。
間伐材の利用量	利用量はここからです。 間伐の促進と間伐とはどのような事かと知りたく。
取組による効果等	間伐の促進と間伐とはどのような事かと知りたく。
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真1の説明</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真2の説明</p> </div> </div>

製品等の写真、図表

掲載する写真や
図表はこのスペース
に収めて下さい。

このほかに図表や
写真がある場合は、
別途添付願います。

杉、桧、赤松等の間伐材を鉢カバーと
して使用。又土の変わりりに炭又は入りの
ボールを使用して土を使わずに。
中はパットHDの廃材を内鉢として使用。

樽の桧の間伐材を木曽の
組子細工の職人さんによる手作りの
製品。中の炭は土佐の備長炭を
細かくして使用。

製品づくり・利用部門

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 8

(会社名・団体名等) **有限会社 ミマツエ芸**

連絡先等	(住 所) 〒842-0062 佐賀県神埼市千代田町柳島 1265-1 (担当部署等) 管理 (電話番号等) TEL : 0952-44-2455 FAX : 0952-44-2469 (URL) www.mscoop.jp/okurimono/
------	--

製品等の名称	木目が織り成す”吉祥文様”シリーズの美しい時計 NENRIN CLOCK	
製品・取組の概要	国内で大切に育てられた木材、想いは、時を重ねる重みや尊さも伝わる年輪と時計を組み合わせることで、商品のストーリー性や付加価値が生まれるものと確信しています。意匠面では、杉が持つ年輪、木目や色柄を選別し設計を行うことで、天然の色味が織り成す伝統模様（吉祥文様）を生み出すアート作品です。日本一美しい時計を目指し製作しました。	
製品開発・取組のきっかけ	現在、ギフト用の木製小物の製造を行っており、百貨店さまメインで販売を行っていただいておりますが、木材の主体は米材です。2015、2016年とパリのメゾンエオブジェに出展し、ロット購入は頂いたものの、国内で木工を生業としている事業のカタチに違和感を感じた為、この度、地元国産材に拘った新たな製品づくりに取り組みました。	
製品・取組の内容・特徴	杉が持つ年輪、木目や色柄を選別し設計を行うことで、天然の色味が織り成す伝統模様柄（吉祥文様）の時計です。年輪をデザインに用いた商品は、いずれも民芸調の雰囲気を出しにくいですが、本製品はプロダクト製品として販売でき、「美しい時計」＋「使用場面に歴史や意味を持つ製品」という特徴を持っています。	
間伐材の利用量		
取組による効果等	国内で大切に育てられた木材（杉）を使用して、「美しい時計」＋「使用場面に歴史や意味を持つ製品」を製品化することで、地域の美しい自然や人への感謝など地域への愛着を深める効果が望める。	
製品等の写真、図表		
	40mmの天然杉材を年輪木色等を選別し設計した伝統文様柄“青海波”デザインの時計。	裏面には、“青海波”の意味を英文で刻印。海外の方にも喜んでいただける一品です。

(会社名・団体名等) **天草ヒノキプロジェクトチーム**

(事務局：熊本県天草広域本部農林水産部林務課)

連絡先等	(住 所) 〒863-0013 熊本県天草市今釜新町3530 (担当部署等) 熊本県天草広域本部農林水産部林務課 (電話番号等) TEL: 0969-22-4316 FAX: 0969-23-8513 (URL) amakusahinoki.com
------	---

製品等の名称	天草ヒノキ PRODUCTS 天草屋台、テーブル、ベンチ、スツール、プレート、天草ヒノキ・ルームスプレー	
製品・取組の概要	天草地域では森林面積が約7割を占め、人工林率が42%でその71%をヒノキ（割合では県下一）が占めている。ヒノキの需要拡大は、ヒノキの占める割合が県下の天草地域では欠かせない課題であり、森林所有者や木材業界からの要望も多い。以上のような状況から、平成29年度に「天草ヒノキプロジェクトチーム」を立ち上げ、 <u>ワークショップの開催や商品づくり</u> 、木育活動や情報発信等の取組みを行っている。	
製品開発・取組のきっかけ	当地域はヒノキの間伐材生産が中心となっており、主に住宅用構造材（土台）として利用されている。そこで、構造材以外の天草ヒノキの利活用を誘発すると同時に、商品を通して、生活者にダイレクトに天草ヒノキの価値や魅力を伝え、ヒノキ間伐材の利活用を進めたい。	
製品・取組の内容・特徴	商品づくりに関しては、管内の事業所から公募を行い、意欲のある事業所を選定。商品は、様々な異業種から参加してもらい、ヒノキを使った商品のアイデアをワークショップにより生み出した。また、アドバイザーとして東京で活躍しているデザイナーからの指導を仰ぎながら6アイテムの商品化ができた。	
間伐材の利用量	ヒノキ 0.38m ³	
取組による効果等	グループワークやHP、イベントへの参加を通じて、天草ヒノキ並びに間伐材の利用を様々な方々に普及することができた。また、商品づくりに携わった事業所はこの取り組みによってデザインやニーズ、流通販路に繋がる部分の重要性など、アドバイザーからの指導により、意識改革ができた。結果、外材や他県産材から天草ヒノキに切り替える加工所が出てきている。	
製品等の写真、図表	 <p>ワークショップで生み出されたアイデアをまとめたアイデアブック</p>	 <p>イベントに参加し、天草ヒノキプロジェクトの商品の展示・販売</p>

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 10

(会社名・団体名等) **埼玉県 ときがわ町**

連絡先等 (公表可能な範囲で ご記入下さい)	(住所) 〒355-0396 (担当部署等) 産業観光課 (電話番号等) TEL: 0493-65-1532(産業観光課直通) FAX: 0493-65-3629 (URL) http://www.town.tokigawa.lg.jp/forms/top/top.aspx
------------------------------	--

製品等の名称	ときがわ木つみ木(ときがわきつみき)
製品・取組の概要	町内に点在する多くの巨木の中から、都幾山慈光寺にある多羅葉樹(たらようじゅ)の木をモチーフに造形された、立体的な積み木。 作成する際の樹種はヒノキを使用している。 1歳6ヶ月健診の対象児にウッドスタート誕生祝品として贈呈している。
製品開発・取組の きっかけ	ときがわ町では豊かな森林資源を背景に、小中学校の床や壁を木質化する取り組みを全国に先駆けて推進してきた。平成28年2月に合併10周年を迎えたことを契機に、東京おもちゃ美術館を運営する「認定NPO法人 芸術と遊び創造協会」と「ウッドスタート宣言」を調印し、1歳児に木製玩具を贈呈する「ウッドスタート推進事業」を開始した。
製品・取組の 内容・特徴	林業や木工業など木材関連産業が盛んなときがわ町において、これまで取り組まれてこなかった地域産木材での玩具開発により、小規模ながら新分野の開拓につながっている。歴史的な背景を有する巨木(多羅葉樹)をモチーフにした積み木のデザインは、立体的な形状と優しさを感じる曲線が相まって、ごっこ遊びから積み木遊びまで、長い期間の遊びに用いることが可能である。
間伐材の利用量	0.00074m ³ (年間50個贈呈) ※誕生祝い品以外に一般販売あり。
取組による効果等	木のぬくもり、香り、柔らかさなどの特徴が、家庭における遊びの中で実感されることで、故郷への愛着や誇りを醸成することにつながっている。また、町の取り組む地域産木材利用推進事業の一環として、木のまちのイメージをPRする商品として好評を得ている。
製品等の写真、図表 掲載する写真や図表はこのスペースに収めて下さい。 このほかに図表や写真がある場合は、別途添付願います。	<div style="text-align: center;">  <p>ときがわ木つみ木</p> </div>

連絡先等	(住 所) 〒643-0166 和歌山県有田郡有田川町吉原 1360 (担当部署等) (電話番号等) TEL : 0737-32-4877 FAX : 0737-32-4878 (URL) http://www.kusube.co.jp/
------	---

製品等の名称	間伐材等地域資源を有効利用した自然復元化工法～その普及
製品・取組の概要	大部分が廃棄されている小径間伐材・木質廃材、浄水汚泥などに着目し、『自然復元』をキーワードに主に公共土木工事の建設資材としてリサイクル製品・工法を開発、提案。ネットワークにてノウハウを共有、木材利用工法の普及活動に取り組む。
製品開発・取組のきっかけ	地場産のもの循環、地域経済の発展を目的とし、小径木間伐材や木質廃材を利用するリサイクル製品、工法を開発した。地元森林組合や東洋紡(株)と連携、強度や安定計算、CO2削減効果検証は株式会社日進コンサルタント、県工業試験場、和歌山工業高等専門学校と連携し研究開発を進めた。
製品・取組の内容・特徴	法面に間伐材を階段状に設置し、待ち受け緑化を目的とする緑化基礎工「ウッド筋工」、浄水汚泥・木質廃材等を有効利用する法面吹付「ローカル・リサイクル吹付工法」、駐車場緑化「ターフ・ウッド工法」、間伐材をユニット化することで施工を容易にした強固な木製構造物「間伐材二重井桁枠工」、「和歌山木製ガードレール」等を開発。緑化に関しては単なる早期緑化ではなく、潜在自然植生を重んじ、地域資源を損なうことなく復元する『自然復元』を目指している。
間伐材の利用量	・ 龍神村森林組合、紀中森林組合、有田川木材協同組合、県内他の森林組合より間伐材を供給。 ・ 他に使用が難しい、廃棄されることの多い小径の間伐材を利用。 ・ 木材利用量：間伐材二重井桁枠工（土留工） 0.21 m ³ /m ² （水路工）0.29 m ³ /m ²
取組による効果等	①施工実績：「ウッド筋工」21,421m（小径間伐材φ8～10 L=270mm 約64,000本） 「和歌山ソイル」（ローカル・リサイクル吹付工材料・浄水汚泥、木質廃材使用） 175,094 袋 「吹付助剤A」（ローカル・リサイクル吹付工材料・杉皮使用） 25,512 袋 「間伐材二重井桁枠工」土留工 2箇所 166m 水路工 2箇所 159m 護岸工 1箇所 23 m ² ・ ウッド筋工、ローカル・リサイクル吹付工は平成14年から施工。 ・ 間伐材二重井桁枠工は平成23年国交省プロテック事業にて開発。 ②「和歌山木材利用連携協議会」「木製構造物研究会」を発足、県内及び県外でのネットワークを構築。間伐材利用工法の取扱い、開発改良等を共有できる仕組みを築いた。 ③ネットワークを通じ行政に働きかけたことで平成29年6月、「和歌山県公共土木工事木材利用マニュアル」が制定され「ウッド筋工」が掲載、県内の木材利用工事推進の一端を担っている。 ④県産品・リサイクル製品展示会、建設技術展等に出展。またNPO法人とも連携し、熊野古道での災害復旧現場見学会を行うなど一般市民に向けた間伐の普及啓発活動も行っている。
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ウッド筋工 + ローカル・リサイクル吹付工 (完成～植生状況)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>間伐材二重井桁枠工（土留工・水路工）</p> </div> </div>

製品づくり・利用部門

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 13

(会社名・団体名等) 沖館地域緑の募金推進協力会

連絡先等	(住 所) 〒038-0001 青森県青森市新田2丁目 (担当部署等) (電話番号等) TEL : 017-766-5181 FAX : (URL)
------	---

製品等の名称	ゴミ集積ボックス
製品・取組の概要	スギ間伐材で作成したゴミ集積ボックスを、平成19年から平成28年にかけて沖館地域に35箇所設置した。
製品開発・取組のきっかけ	当地域でゴミ集積ボックスの設置が課題となっていたところ、県の緑化推進委員会から木材利用に関する事業の情報提供があり、事業を活用しスギ間伐材で作成し設置したところ、好評であったことから当地域に広く設置することとなった。
製品・取組の内容・特徴	当初は、既存のゴミ集積ボックスを参考に協力会自ら設計し、スギ間伐材で作成したものであるが、その後、地元の木工店に作成を依頼することにより、設置スペースの制限等による住民からの要望に応え、高さ、幅、奥行き異なるオーダーメイドのゴミ集積ボックスの作成が可能となり、地域に広く設置することができた。
間伐材の利用量	約14m ³ (0.4m ³ ×35箇所)
取組による効果等	日常生活で利用するゴミ集積ボックスにスギの間伐材を利用したこと、利用に合わせた加工(サイズの調整、棚や仕切りの追加、フックの取り付け等)や修理が容易であることなどから、木のぬくもりだけでなく利便性も理解され、住民への木材利用のPRが図られた。
製品等の写真、図表	 <p>ゴミ集積ボックス1</p> <p>ゴミ集積ボックス2</p>

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 14

(会社名・団体名等)

山口県立 萩商工高等学校

連絡先等	(住 所) 山口県萩市平安古 544 (担当部署等) 電気・建築科 建築コース (電話番号等) 0838-22-2429 (URL) http://www.hagi-ct.ysn21.jp
------	---

製品等の名称	間伐材を利用した東屋（屋根付きベンチ）
製品・取組の概要	地元産の間伐材を利用し、電気建築課・建築コースの2・3年生が2基の東屋を作成し、本年度、山口県で開催される“山口ゆめ花博”会場の“2050年森のゾーン”に設置。山口ゆめ花博の閉会後も、公園施設として継続的に利用される予定。
製品開発・取組のきっかけ	郷土の貴重な資源である森林の現状を知るとともに、森林から生産される木材の良さや県産木材利用への理解を深めるため、加工から組立て・設置等に至る様々な工程を体験する実習を開始。
製品・取組の内容・特徴	地域産木材を利用した木材建築物の視察や高性能林業機械を活用した木材生産現場の視察も併せて実施しており、どのような工程で木材が生産され、調達されるのかを体験できる、貴重な取組となっている。
間伐材の利用量	利用量 2.308m ³ /基（H30年度は2基設置） 間伐材の調達や製材を地元森林組合、製材所等が実施しており、地域一体となった取組である。
取組による効果等	平成26年度以降の継続した取組みであり、間伐材利用の普及・啓発の役割を担っている（これまで製作した東屋は、萩市内及び近隣の阿武町内の公共施設に設置）。
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>作成の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成した東屋</p> </div> </div>

株式会社那賀ウッド

連絡先等	(住 所) 〒771-5408 徳島県那賀郡那賀町吉野字弥八かへ1番 (担当部署等) 企画管理部 (電話番号等) TEL: 0884-62-1163 FAX: 0884-62-1164 (URL) http://www.nakawood.co.jp
------	---

製品等の名称	A材から未利用材・端材まで木を使い尽くす! 「サーフボード」や「木粉活用製品」など間伐材で多用途な木づかいを推進
製品・取組の概要	間伐材を活用した品質の高い無垢製品や木粉活用製品などの多様な木製品づくりと木材のカスケード利用を通じて、地域への貢献や国土保全・循環型社会の構築を目指す取組
製品開発・取組のきっかけ	地域活性化への貢献や、木づかいによる山地環境保全、循環型社会の構築、自然災害の低減を目指し、機能性もカッコ良さも併せ持つ多様な木製品づくりに取り組む。さまざまな場面での「木づかい」を進めるため、木粉を扱う工業事業者など異業種とも連携し製品づくりを行う
製品・取組の内容・特徴	地域への貢献や国土保全・循環型社会の構築を目指して木製品の加工・普及啓発を実施 ・無垢製品: 家具類・おもちゃ、サーフボードなど木頭杉の手ざわり・温かみ・機能性が特徴 ・木粉製品: 木粉と他素材の配合により外構・内装用の工業製品化による安定した品質 香り・吸水性・消臭性などを活かした新しい木製日用雑貨等としても活躍
間伐材の利用量	・原木: 木頭森林組合をはじめとする地元林業事業者や那賀町版木の駅から調達 ・製材端材: 地元のチップ加工・製材・木工事業者から調達 ⇒平成29年度は地域から約300tの間伐材を利活用
取組による効果等	地元の木材調達ルート・加工技術により、これまで間伐材を原料や部材として使用できなかった場面でも木材製品を活用できるようになった。また、未利用の活用による地域への資金還元、地域内連携による新製品や事業の開始などの取組が活発に行われるようになった。 山林だけは豊富にあるもののどうせ杉は使い道がないと閉塞感もある過疎の町の中、多様な木製品のPRにより地元の子供たちからも「那賀町の杉や技術が都会でかっこよく使われるなんて嬉しい」「那賀町は海には面していないが下流の川や海を支えているので誇らしく感じる」「何でもできる木ってすごい」という声が聞こえるようになるなど、木づかい・環境・防災教育活動等により地域の意識も少しずつ変わり始めている。
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <p>無垢材は木育にも活用できるカッコイイ製品に 端材等は「木粉」化して多様な用途に活用</p>

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 16

(会社名・団体名等)

株式会社・テクノタッチ

連絡先等	(住所) 〒:407-0046 特願NO-2017-225140【膨満力用いた自動閉口遮水型防潮堤】	審査請求近日予定中
	(担当部署) 新規製品研究開発部	FAX: 申請予定中
	(電話番号) 携帯:080-1138-6285	特願NO-2016-198022【合体型積みブロック】
	(URL) kamutacchi@yahoo.co.jp	

製品等の名称

●名称:鉄筋不要型で無限積み形態の【唐松丸太埋塞型・コンクリート製積みブロック】

用途①:擁壁基盤用の【ハニカム型ブロック】であって、基盤の頑強化が図れる。

用途②:積み木式ログ用の【前後段差型ブロック】であって、耐圧台風性ログハウス構築が可能。

用途③:ロックフィルダム用の【上下ダブル係合型ブロック】であって、跳耐圧性のダム構築が可能。

製品・取組の概要

防潮堤用積みブロックの二種目やログ用ブロック、及び、耐震ハウス用のイカダ状ブロックにしても、全て、唐松丸太の応用が必要で、最大要点は、唐松材の耐久性や耐圧性、及び、コンクリートとの相性問題も解決する必要がある、専門分野の大学等の技術指導が必要。特に、防潮堤については、海岸地帯で、津波模擬波を用いた安全構造の実証実験が必要。

製品開発・取組のきっかけ

数年前の東北大災害等を検証するに、半分は人災の要素もあるものと考え、99%津波を遮断可能な、安全構造なる防潮堤を開発し、住民の命と財産を津波から護れる防潮堤擁壁体の構造を研究し、かつ又、本件技術を国内の海岸帯のみならず、河川堰堤の嵩上げ工法やロックフィルダム擁壁体にも応用可能であり、さらに、唐松丸太の応用は、水田擁壁や嵩上げ工法にも応用可能な技術達成が目的。

製品・取組の内容・特徴

特徴は、唐松丸太材の捻り特徴と、垂直成長材特質を活用する事により、土木用材として使え、特に、コンクリート内への埋塞型積みブロックの場合、皮の削除だけでは、コンクリートと馴染まず、耐圧性に弱く、解決策としては、丸太材の表面に所望深さで、かつ一定形態の溝等の凹みキズを形成させることにより、鉄筋材と同等なる締結構造になり、かつ、鉄筋材と違い、錆び膨張が無いので、耐久性200年以上が可能。

間伐材の利用量

この唐松丸太の使用量については、現況、研究開発のスタート段階にて、どの位の使用量かは、現状では分から無いが、各製品等の開発と実証が済み、かつ、NEDOと国交省の認証が下りれば、膨大な量の需要が見込まれるものと推察出来る。

取組による効果等

この唐松丸太の使用については、世界的にも初めてであり、研究開発のスタート段階にて、どの位の効果があるかは不明だが、予想とすれば、安全性が確保されるものと確信しており、経済的効果は抜群で、特に、防潮堤の場合、数千億円単位の財産と命が護れるものと確信す。材質は異なるが、九州でのアーチ橋内に丸竹材が埋塞されている実績があり、且つ錆膨張が発生せず耐久性が倍以上になる効果。

製品等の写真、図表

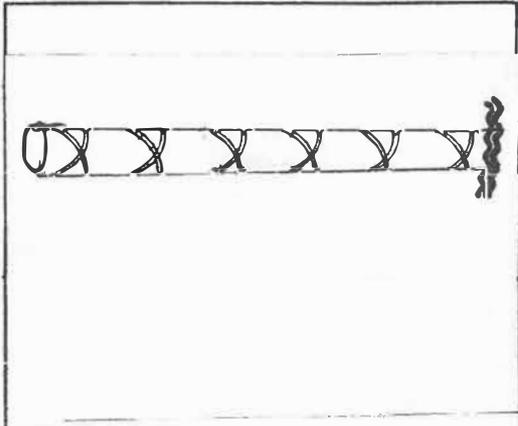


写真1の説明
交差状螺旋溝付き丸太材の加工斜視図

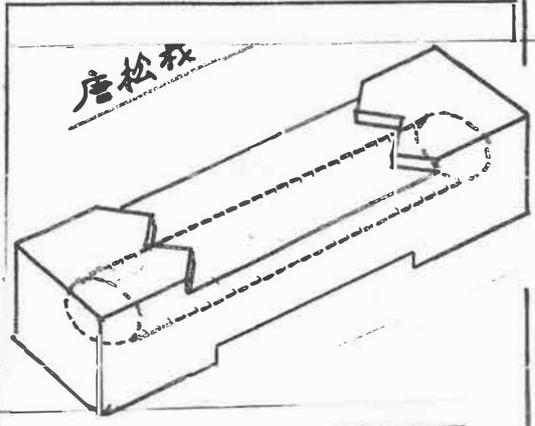


写真2の説明
交差状螺旋溝付き丸太材埋塞型ブロックの斜視図

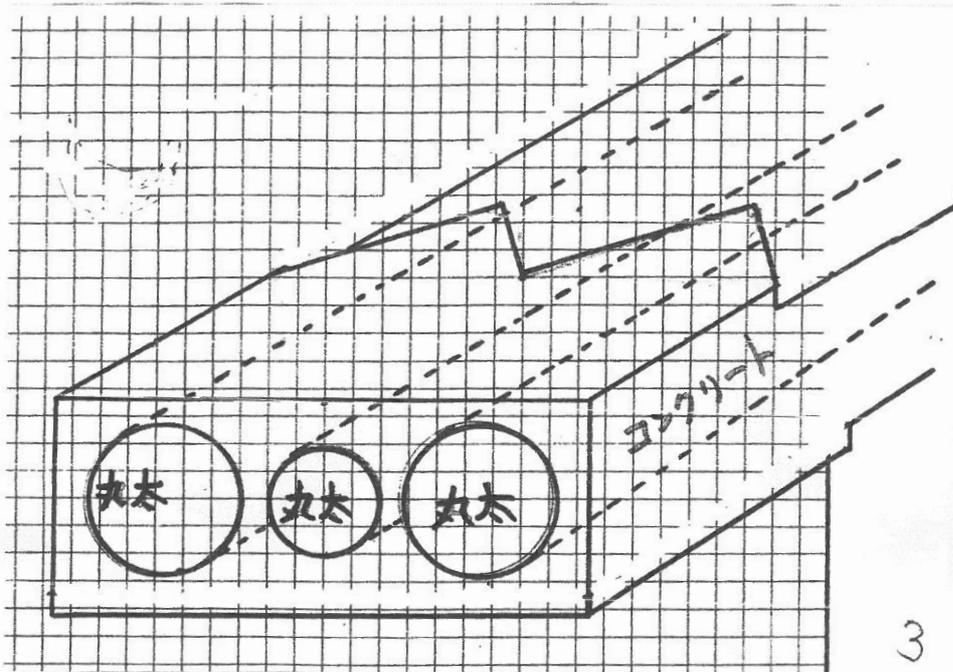


写真 3 の説明
螺旋溝付き丸太複数本埋塞型ブロックの透視図

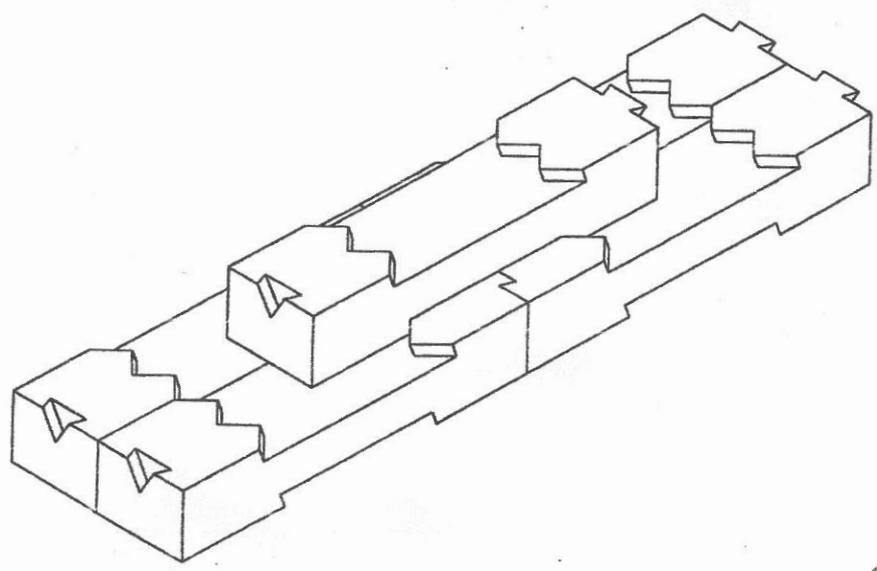


写真 4 の説明
上下対称無限係合型ブロックの無限構築形態斜視図

製品づくり・利用部門

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 17

(会社名・団体名等) **川口建設株式会社**

連絡先等	(住 所) 〒645-0303 和歌山県田辺市龍神村小家 1013-3 (担当部署等) (電話番号等) TEL : 0739-77-0224 FAX : 0739-77-0665 (URL)
------	--

製品等の名称	「森のねこトイレ」 間伐材を使用したシステムトイレ用猫砂	
製品・取組の概要	猫砂は一般的に廃材等から作られますが、弊社は敢えて間伐材を使用しています。リグニンの力を利用し形成、飼い主や猫に安心安全、そして未来の環境にも貢献することができる製品づくりをしています。	
製品開発・取組のきっかけ	子供の頃よく遊んでいた山へ久々に入ってみると昼間であるというのに薄暗く、下草も生えていない寂しい状況に驚き、獣害と言われる野生動物が里に下りてきて田畑を荒らすのも当然の事だと思いました。間伐材を使用する事により地域の雇用、動物の食糧確保、山林所有者の資産価値を高めていければと考えています。	
製品・取組の内容・特徴	切り出し新鮮な檜の間伐材を粉碎、そして造粒することにより、消臭剤及び芳香剤を一切使用せず。自然の香りと抗菌力を活かした猫砂です。	
間伐材の利用量	龍神村森林組合等 5.5m ³	
取組による効果等	弊社は田舎の建設会社であるため民間の仕事はなく、ほぼ公共事業が主体で工事落札状況による閑散期の雇用安定。又、製造メーカーとして民間取引を行うことにより全国のお客様と繋がることができ会社と社員の目標が大きく変わりました。	
製品等の写真、図表		
	写真1の説明	写真2の説明

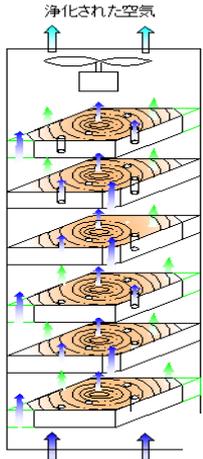
Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 18

(会社名・団体名等)

親和木材工業株式会社

連絡先等	(住 所) 〒509-0108 岐阜県各務原市須衛町7丁目178番地1 (担当部署等) 取締役社長 古田 元 (電話番号等) TEL : 058-384-8784 FAX : 058-370-2859 (URL) http://www.shinwa-m.com
------	---

製品等の名称	空気清浄機 (森の妖精)
製品・取組の概要	森林にはわれわれの暮らしや環境をまもる重要性があり、日本の森林資源をまもる為、新たな木材需要を生み出す必要性の中間伐材に注目した。当社は国産間伐材杉利用の製品を開発し、自然素材の木の(杉の木の香り)が、部屋の中にただよう空気の清浄化により杉の効果を活かすことができる製品の開発に至ったものである。 空気の浄化により現代の生活にかかせない効果をねらう。
製品開発・取組のきっかけ	当社は、国産間伐材杉・桧を取り扱ってきました。その中で新製品開発にも力をいれてきた中で自然素材の持つ、杉の木の香りを利用できる製品に注目し、杉の持つ特性を活かし、消臭効果・殺菌作用・調湿作用さらには、精神安定効果・リラックス効果を狙って開発に挑んだ。
製品・取組の内容・特徴	長い年月育った100年杉の香りを原点として杉の持つ特性を生かすことによる空気の浄化を利用、①二酸化窒素を吸着し固定する②室内の有害科学物質吸着し固定をする、又分解もする。③湿気を吸放出して調湿作用をする。④科学的効果セドロール・天然セキステル類等の放出。等室内の環境改善をはかることができる。杉の輪切り(空気の浄化・殺菌作用・調湿機能フィルター)を杉の収納ボックスの中に細かく棚をつくりそこへ差し込んでいく。モーターを動かすことによりボックス内の空気を循環させ、杉のフィルターから香りが空気を通過していき、室内に香りが放出されるものである。開発を重ねコンパクトにデザインを替えスタイリッシュとなり今に至る。
間伐材の利用量	杉丸太辺材利用の商品開発と付加価値化、及び市場で利用価値の少ないスギ2mの利用 辺材は節が少なく色合いも白く製品仕上がりも美しい。又、製品仕上がりサイズを400mm~800mmとし歩留り向上に努める。 間伐材・・・200 m ³ /年
取組による効果等	数年前より各展示会等出展し、PRに努めてきた。杉の持つ特性効果を大同大学に依頼し、研究結果をだしている。又 サンプルを総務省に設置してあります。 特許取得。今以上営業活動を展開していくものである。 幼稚園・老人ホーム・各病院室内又、個人宅の生活範囲の中での利用等PRをしていく。
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;">  <p style="font-size: small;"> 浄化された空気 フィルター (輪切タイフ) フォン/チッド (木材に含有する 精油揮発性物質) 精油成分 心材 (赤見) に多く含まれる 空気循環口 杉使用の空気浄化装置の仕組み </p> </div> </div>

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 19

(会社名・団体名等)

親和木材工業株式会社

連絡先等	(住 所) 〒509-0108 岐阜県各務原市須衛町7丁目178番地1 (担当部署等) 取締役社長 古田 元 (電話番号等) TEL : 058-384-8784 FAX : 058-370-2859 (URL) http://www.shinwa-m.com
------	---

製品等の名称	JOSY PLAY LAND 木製 据え置き型 多感覚遊具	
製品・取組の概要	国産間伐材(杉)による自然素材の木の香りが、脳を刺激し、遊び、喜びが、感覚を発達させる為、こどもの発達にかかせない遊びの中での重要性を感じた遊具である。現代は木からプラスチック製品に変わり軽くて美しい色合いを自由に表現できるが、又、一面木の持つ暖かさにかける。日本人が古来より木のおもちゃで育ってきたなつかしさ、やさしさを思い起こすと共に多感覚を養う木のおもちゃで体験し・育つことの大切さを痛感した。	
製品開発・取組のきっかけ	当社は、国産間伐材を取り扱ってきました。その中で新製品開発にも力をいれてきた中で自然素材の持つ、杉の木の香・ぬくもり・を利用できる製品に注視し、子供の脳の発達に木育の大切さを痛感し開発に至った。子供の発達状態にあわせて遊びを工夫できる。	
製品・取組の内容・特徴	ジングルジム・ボルダリングボード・ブランコ等の組合せによる。子供達がどれでも選んで色々な遊びに興味を持つことができる。 ①据え置き式なので簡単設置である。スイング遊具がほしくても場所が狭い為不可で合ったものが実現できる。②金物接合の為、丈夫で安心である。 ③木構造なので色々アレンジして後から部材の取り付けも可能である。 ④木裏+木裏の接着なので表面は木表になりケバが出ない素材を使用している。	
間伐材の利用量	杉間伐材丸太周辺利用の商品開発と付加価値化及び、市場で利用価値の少ない杉2m材の活用 辺材は節が少なく色合いも白く製品仕上がりも美しい。又、製品仕上がりサイズも900mm~1800mmとし歩留り向上に努める。 間伐材・・・200 m ³ /年	
取組による効果等	昨年秋、東京のジャパンホームショー・長野県諏訪の日本感覚総合学研究大会に出展、今年春の岐阜木のフェスタ展示会に出展をして評価大である。 幼稚園・保育園・商業施設・公共施設等販売に意欲的に営業活動をして普及することを期待する。	
製品等の写真、図表		
	2018.06 ぎふ木のフェスタで子供達が遊ぶ	JOSYPLAYLANDおもちゃの組合

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 21

(会社名・団体名等) **間伐こもれび会**

連絡先等	(住 所) 〒446-0002 愛知県安城市橋目町茶臼 2 1 3 (担当部署等) 会長 伊藤 浩 (電話番号等) TEL : 090-3952-2214 FAX : 0566-98-1454 (URL) https://anjyokanbatu.jimdo.com/
------	---

製品等の名称	間伐材を使用した『間伐こもれび積み木セット』	
製品・取組の概要	<p>弊会は、月約4日、年間で約45日、森林保全活動を実施し、切り出した間伐材を地域製材所と連携し製材し、弊会の「工房こもれび」で間伐材を原材料に『間伐材積み木』を制作している。「木育」を目的に、地域で開催される様々なイベントに『積み木遊びブース』出展。地域保育園からの要望があり、現在までに『間伐こもれび積み木セット(420p)×5セット(2,100p)』を、愛知県安城市の全保育園である38保育園、森林保全活動を行っている岡崎市の13保育園に寄贈してきました。</p> <p>今後、積み木セット寄贈活動で習得した積み木生産技術を生かし、高品質の『保育施設等で求められる販売用の積み木セット』の製品化と販売に取り組んでいきます。</p>	
製品開発・取組のきっかけ	<p>地域で開催されるイベントに、「間伐こもれび会」の森林保全活動のPRするため「間伐材を原材料とした積み木」を制作・展示したことがきっかけで、多くの児童が遊ぶことのできる『間伐こもれび積み木セット』を開発。</p>	
製品・取組の内容・特徴	<p>『間伐こもれび積み木セット』は、家庭で使われるような少ピースの「積み木セット」ではなく、保育園等で同時に多くの児童が遊ぶことのできる「適正な積み木の量(420p)」、持ち運び可能な収納用の積み木箱は「大工さんの工具箱」をヒントに開発した。</p>	
間伐材の利用量	81立米の間伐材で、315,630pの積み木を制作した。(歩留り25%)	
取組による効果等	<p>地域イベントでの『積み木遊びブース』出展活動や、地域の保育園への『間伐こもれび積み木セット』の寄贈活動では、積み木に触ることによる児童の「木育効果」だけでなく、森林の機能、森林保全活動の必要性も啓発できている。</p> <p>また、『間伐こもれび積み木セット』を寄贈した保育園等から使用状況をリサーチすることで、より良い「積み木セット」に改良することができた。</p>	
製品等の写真、図表		
	森の保全・間伐活動	間伐こもれび積み木セット

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 23

(会社名・団体名等) **にいみ木のおもちやの会**

連絡先等	(住 所) 岡山県新見市 (担当部署等) 代表 藤本 忠男 (電話番号等) TEL : 090-1016-2252 FAX : (URL)
------	--

製品等の名称	『にいみのひのき』シリーズ ～地元新見産間伐材を使用した地域活性化を目指して～	
製品・取組の概要	本会では「世代を超えて木と関わり、豊かな心を育む『生涯木育』」を理念とし活動している。地元林業、製材所、官公庁等と連携しながら、地元（新見産）ひのきの間伐材を使用し、商品化を図り販売している。	
製品開発・取組のきっかけ	新見市は総面積の86%が森林で占めており、木材は新見市の豊富な資源の一つである。その資源を使用することで、林業を活性化させ地域振興へ貢献したいと考えている。地元木材関係業者、小売業、観光業、官公庁等と協働し、新見市のマスコットキャラクター「にーみん」のストラップ、ネームプレート、その他様々な商材を製作している。	
製品・取組の内容・特徴	本会では全て地元の間伐材を地元の業者が伐採し製材したものを使用している。「にいみのひのき」というシリーズで、新見市のマスコットキャラクター「にーみんのすとらっぷ」、「くみきのつみき」、道の駅鯉が窪限定ストラップ、イベントにおける組立式「レオナルド・ダヴィンチの橋」等、積極的に間伐材を使用し、林業振興、地域活性化へつなげている。	
間伐材の利用量	供給先は有限会社安田ウッド。間伐材年間約5 m ³ 使用（商品販売数より換算）。道の駅、高速道路サービスエリア等地元小売業観光業のほか、近畿中国森林管理局、岡山県備中県民局新見地域事務所、新見市役所と連携を図り、地元材を使用した商材の販路を広げている。	
取組による効果等	間伐材を使用した本会オリジナルの商品が、今年から新見市のふるさと納税返礼品として採用され、間伐の普及啓発活動に一役買っている。また、本会におけるこれらの活動を通して、来年度から実施予定の「新見市ウッドスタート事業」にも繋げることができた。	
製品等の写真、図表		
	レオナルドダヴィンチの橋	「くみきのつみき 千屋牛の輪っかセット」

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 25

(会社名・団体名等) **あてま 森と水辺の教室 ポポラ**

連絡先等	(住 所) 〒949-8556 (担当部署等) あてま 森と水辺の教室ポポラ (電話番号等) TEL : 025-758-3863 FAX : 025-758-4158 (URL) https://popora.jp/ https://readyfor.jp/projects/popora
------	--

製品等の名称	「WOODY LAND PARK」 間伐材を活用した自然共生型木育PARK ～ニホンリスを守る森～
製品・取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ■放棄されたスギ林を間伐し、ニホンリスが安心して暮らすことのできる生息空間を創出 ■間伐した森は、生物を観察することが出来るフィールドアスレチック空間として活用 ■間伐材は、森と森を行き来するための通廊（コリドー） & アウトドアフィールドとして活用 ■小さな残材等については、チップ材や木工クラフト製品等で活用し、木育を進めている
製品開発・取組のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> ■放棄水田や荒廃した森などの里山再生活動を実践している ■ニホンリスが同じ場所で何度もロードキル（車による轢死）にあっている ■上記の課題を解決するために、環境保全に従事している人だけでなく、幅広い層に普及啓発するために異分野とのコラボや産官民学連携の下、取り組んでいる。 ■生物多様性の保全と持続可能な利用を基本理念とし、当団体が考える木育①森を守る②森で遊ぶ③暮らして木を取入れる④地域を活性化する⑤新たな活用方法を見出すことを基本方針として活動している。
製品・取組の内容・特徴	<ul style="list-style-type: none"> ■焼却するような利用価値のない間伐丸太を製材することなく、人力かつ低コストで組み立てる事が出来る（丸太を三又状に組んだ檣）。檣を移動式柱として考え、色々な形状に配置する事で多様な用途に活用可能。 ■モンゴルのゲルやインディアンのティピーのような簡易テントや物置小屋など野外イベントやアウトドアキャンプのフレームとして地域木材を容易に活用でき、自然景観との調和にも有効である。
間伐材の利用量	<ul style="list-style-type: none"> ■供給先：「WOODY LAND PARK」内での利活用や木工クラフトプログラム等に参加頂いた一般客 ■利用量：約1000t（H30. 8月末現在）今後も利用量は増えていく予定です。 ■連 携：津南森林組合や地域の林業関係者、木工クラフト職人の方々からの材料の供給やクラフト商品の提供、また、地元織物産業等異業種と木工商品のコラボによる新しい商品開発等を実施し、国産材（地域材）の積極的な活用を推進している
取組による効果等	<ul style="list-style-type: none"> ■デザインについては、建築系大学とのコラボにより、国宝火焰型土器が発掘されている地域特性を踏まえ縄文時代の竪穴式住居をイメージし、『アート×自然保護』という新たな価値の創造に努めた。また、人力で構築出来るシステムを開発し、ボランティアの方々と共にハードを整備し、整備したフィールドをアウトドア体験など人と自然の共生を目的とした多目的エリアとして幅広い層への普及啓発を進めている。
製品等の写真、図表	 <p>完成イメージ</p> <p>平面図</p> <p>コリドー</p> <p>コリドー組立状況</p> <p>フィールドアスレチック</p> <p>ニホンリス</p> <p>WOODY LAND PARK ～リスのコリドー～</p> <p>WOODY LAND PARK 平面図</p>

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 27

(会社名・団体名等)

(株) ホルツベル

連絡先等	(住 所) 〒729-0105 広島県福山市南松永町 4-11-14 (担当部署等) (電話番号等) TEL : 084-933-3371 FAX : 084-933-4033 (URL) http://holzbell.ddo.jp
------	---

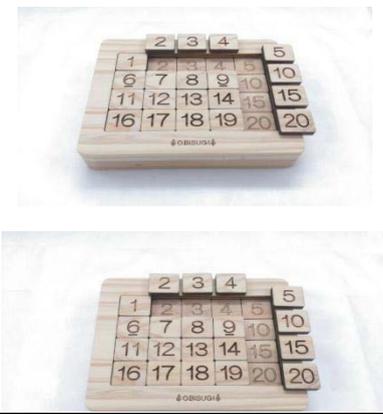
製品等の名称	間伐材に PET 樹脂を組み合わせた天板「カップリング天板」
製品・取組の概要	桧、杉など国産間伐材を加工した集成板に PET 樹脂を張った製品です。学校机の天板に活用して頂いているほか、図書館・幼稚園など公共施設の机、フロア、棚板、壁等様々な場所にて利用を進めています。イラスト、文字、写真等の印刷も可能で、応用範囲の広い製品・技術です。
製品開発・取組のきっかけ	環境に配慮したものづくりという理念に基づき、日本の風土に合った地域の桧、杉など国産間伐材の有効活用を進めたいという思いが開発のきっかけとなっています。桧・杉材の表面の柔らかさという弱みをカバーするため試行錯誤を重ね、PET 樹脂を張ったうえで塗装を施し、強度維持を可能としました。
製品・取組の内容・特徴	桧、杉の天然木の自然さや見た目の美しさを残しつつ、表面に PET 樹脂を張るという新しい発想により技術開発を実施、従前廃棄されることの多かった間伐材の有効活用につなげました。気泡を発生させずに PET 樹脂を張る技術にて実用新案を取得しています。PET 樹脂による表面硬度アップは多くの場所での課題をクリアする画期的な試みであるとの評価も頂戴しています。また、持続可能な社会形成に向けた取組として、エコマーク認定を受けています。
間伐材の利用量	広島県北部国産材加工協同組合、熊本県森林組合連合会、岐阜県森林組合連合会 他 桧、杉 年間約 15 m ³ 利用
取組による効果等	各地の森林組合や間伐材活用に賛同するパートナー企業と連携しながら、地域の国産間伐材の活用を進めています。また、行政や学校などへ働きかけ、間伐材を活用した学童机などを普及させ、触れる機会・考える機会を創出し、「木育」も進めていきたいと考えています。 当社の取組に関心を寄せる森林組合等からの問い合わせ、工場見学の申し出などもあり、徐々に広がりを見せています。
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>学童天板全景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>天然木上に PET 樹脂を張っている</p> </div> </div>

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 30

(会社名・団体名等) **有限会社 ギフトハウスマエダ**

連絡先等	(住 所) 〒889-2536 宮崎県日南市吾田西三丁目11番30号 (担当部署等) (電話番号等) TEL: 0987-22-5377 FAX: 0987-22-5378
------	---

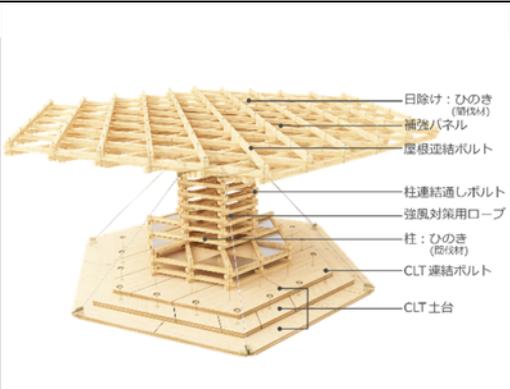
製品等の名称	おび杉数字パズル	
製品・取組の概要	なじみのある杉間伐材を使って、考えながら楽しめる玩具をと思い「おび杉数字パズル」を製造・販売	
製品開発・取組のきっかけ	幼児から年配者まで考えながら、楽しめる玩具を杉間伐材を使用して何かできないかと考え・開発	
製品・取組の内容・特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・杉独特の香り・手触り・温かみにより、気持ちが落ちつきます。 ・二段で構成されており、上段の数字と下段(白抜き)数字の位置を動かせるようにできております(1~20) ・数字の上に同じ数字をのせる遊びに始まり、上段と下段の数字の合計が同一になるように考える。(例えば、上段+下段=21など) ・1枚1枚を積み木のように重ねていく。 ・並べて倒す(ドミノ) ・ボウリングのように並べて、1枚を手前からはじめて倒し合計得点を争う。 <p>*遊びは、遊び手によってルールを考えることで無限に広がります。</p>	
間伐材の利用量	地元の業者に依頼しております。	
取組による効果等	木持つ優しさ・温かみ・安全性を感じ、指先を使うと同時に思考力もつくようで、新たにこんな遊びを考えついたとのご報告もいただいております。 *それによって開発当初は3・4種類の提案でしたが、現在は10種類くらいの遊びができます。まだまだ、いろいろな遊びがみつきりそうです。	
製品等の写真、図表	 <p>2段式の数字パズル</p>	 <p>全体画像</p>
	サイズ W200xD140xH32mm	

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 31

(会社名・団体名等) **株式会社 日建設計、銘建工業 株式会社、株式会社 光栄、株式会社 村田製作所**

連絡先等 (公表可能な範囲で ご記入下さい)	(住 所) 〒102-8117 東京都千代田区飯田橋2丁目18番3号 (担当部署等) 株式会社日建設計 広報室 (電話番号等) TEL : 03-5226-3030 FAX : 03-5226-3039 (URL) http://www.nikken.jp/ja/ideas/ideas_life_04.html
------------------------------	--

製品等の名称	COOL TREE
製品・取組 の概要	屋外パブリックスペースの暑さ対策として、屋外に自立設置できる COOL TREE を開発しました。今回の開発においては、日建設計（建築設計）、銘建工業（木材）、光栄（ミスト）、村田製作所（制御システム・蓄電池）のフィールドの異なる4社が連携することで、屋外パブリック空間に意匠性・環境性がデザインとしてインテグレートされたクールスポットを創出します。
製品開発・取組の きっかけ	東京オリンピック開催に向けて、東京都でも暑さ対策としてクールスポット創出支援事業が開始され、夏期の屋外環境の改善手法に注目が集まっています。多くの場所に自立して設置ができる COOL TREE の開発・設置により、間伐材を有効利用して、パブリックスペースの環境改善、地域へ貢献を行うことを目指しています。
製品・取組の 内容・特徴	積層された木材によって木陰のような影をつくり出す屋根と柱、くつろぐためのベンチ、それらを支える土台によって構成されています。使用材料は屋根と柱に 75mm 角の製材、土台に厚さ 90mm の CLT を採用しています。各部材は孔をあけるだけの簡単な加工とし、それらを積層して連結ボルトで一体化するシステムです。CLT 土台を暴風対策における重石も兼用させ、ツリーを地盤に固定させる必要がなく、繰り返し様々な場所で組み立て・解体を行うことが可能です。屋根の最大対角長さは約 7.5m ですが、継手を設けて 4m 以下の間伐材で構成しています。柱の実大実験を行い、構造安全性についても実証しています。 屋外にて涼感が得られるように、ミスト・ファン・ペルチェ素子による冷却装置を内蔵し、太陽光発電装置およびバッテリーを電源として、各種センサー・制御システムにより自立して稼働させることができます。
間伐材の利用量	2017 年夏に 1 基（屋内にて実証展示/東京）、2018 年夏に 2 基（屋外設置/柏の葉）設置しており、これらは岡山県産材を使用しています。1 基あたり、製材は 4.5m ³ 、CLT は 7.5m ³ の間伐材を使用しています。樹種はヒノキ（一部スギ）で、今後は、設置する地域の間伐材を採用するような仕組み作りにも取り組むと考えています。
取組による効果等	COOL TREE は 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を徹底的に目指し、エコロジカルなシステムを実現します。各部材をボルトで接合する単純なシステムのため、組み立て・解体を繰り返すことが可能です。また数回使用した後は、木材はバイオマス発電の材料として循環利用します。
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">屋外設置の第一弾として 2018 年夏から柏の葉に設置。多くの地域住民に利用されています。</p> <p style="text-align: center;">柱・日除けの材料は 75mm 角のひのき材（間伐材）とし、土台には厚さ 90mm の直交集成板である CLT を 3 枚積み重ねています。</p>

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 32

(会社名・団体名等)

ライオン株式会社

連絡先等	(住 所) 〒130-8644 東京都墨田区本所 1-3-7 (担当部署等) CSV推進部 (担当: 島崎博子) (電話番号等) TEL: 03-3621-6607 FAX: 03-3625-8625 (URL) https://www.lion.co.jp/ja/csr/social/forest/
------	---

製品等の名称	社員が自発的に行うライオングループでの多岐に渡る間伐材利用
製品・取組の概要	山梨市にある「ライオン山梨の森」の森林整備ボランティアに参加したライオングループの社員たちが自発的に各自部門で間伐材を利用し、その輪を社内外に拡げている。
製品開発・取組のきっかけ	当社は2006年から社員の環境意識醸成を目的に「ライオン山梨の森」で森林整備を開始した。また、都会の企業に求められていることは国産木材の積極活用と発信による社会への啓発であるため、「ライオン山梨の森」の活動時には作業だけでなく、企業の役割についても参加者に話をしている。
製品・取組の内容・特徴	約5年前から CSV 推進部で「ライオン山梨の森」の間伐材を活用した看板やテーブル等を使用開始。近年では自発的に間伐材を利用する部所が増えてきた。総務部は取引先との賀詞交歓会の日本酒用の枡に使い、当社の環境活動のPRに繋げている。枡は今までに1100名の取引先の方々に配布しており、枡には干支の刻印を入れているため、毎年楽しみにコレクションする人まで現れ、都会のビジネスマンたちが間伐材への親しみを持つきっかけを作っている。人事部では定年退職者に記念品としてフォトフレームを贈呈し、退職後も自社に誇りを持ってもらえるような施策を行っている。ライオンケミカル(株)の鹿島工場では安全啓発看板を手掘りで作成して社内に設置し、社員に「ライオン山梨の森」への興味喚起をしている。ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ(株)でも CSV 推進部や総務部の活動に賛同し、看板、枡を採用した。着実に周囲に波及してきている。
間伐材の利用量	間伐材は全て「ライオン山梨の森」の材を中心とする山梨県産材。伐採は森林整備協定を締結している山梨県峡東森林組合に依頼。製材は木net やまなし推進協議会の山梨県内の製材工場を利用。この工場にはチップ工場もあるため、製材する際に出た端材もチップとして全て有効活用している。2013年から6年間で丸太換算で約7m3分を利用。大きな波及効果を生んでいる。
取組による効果等	各部門の社員たちが自ら「ライオン山梨の森」と間伐材活用の必要性をライオングループ全体に浸透させている。森の担当部門(CSV推進部)以外の社員が自ら間伐材を採用する行動は社外の森林関係者からも賞賛されており、環境意識の社内外浸透の良い事例としても社内で高く評価されている。
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>賀詞交歓会でお客様にふるまう枡</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>定年退職者への記念品フォトフレーム</p> </div> </div>

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 33

(会社名・団体名等) **有限会社 一場木工所**

<p>連絡先等</p>	<p>(住 所) 〒729-6332 広島県三次市上志和地町195-1 (担当部署等) (電話番号等) TEL : 0824-68-2318 FAX : 0824-67-3069 (URL) http://hinata.life/</p>
<p>製品等の名称</p>	<p>パン de ドミノ</p>
<p>製品・取組の概要</p>	<p>広島県産間伐材のヒノキを使用した、「山型食パン型のドミノ」 ・これから製品化するチーズ型、トマト型、レタス型やハム型などのドミノと合わせると「サンドイッチ型ドミノ」になるなど、子どもが想像力を駆使して楽しく遊ぶことができる。 ・ドミノとしてだけでなく、おままごとやお店屋さんごっこなど、いろいろな遊びができる多様性を持つ。</p>
<p>製品開発・取組のきっかけ</p>	<p>天然乾燥のヒノキ「ひなたぼっこ®」を使用した木のおもちゃシリーズ(製品名「森のおもちゃ」)で、長方形のドミノは販売しているが、類似の商品との差別化が難しく、売上が伸び悩んでいた。この状況を打開するには、新たな楽しさと多様性という付加価値を持つ製品が必要と考え、試行錯誤の末、ヒノキの間伐材の木目の美しさと木の香り、そして見た目の面白さを併せ持つ「山型食パン型のドミノ」の開発にたどり着いた。</p>
<p>製品・取組の内容・特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐されたヒノキ(芯持ち材)75mm角材を使用している。 ・通常のドミノよりも20mmと厚く、幼児でも持ちやすく、並べやすい。 ・芯持ち材の木目がマーブルパンのようで、ままごとの食材としても使える。 ・パンの耳の色は国産自然塗料「U-OIL」を使用し安全に配慮している。 ・パン以外の食材ドミノと合わせると、長いサンドイッチドミノとしても遊べる。
<p>間伐材の利用量</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・すべて間伐材を使用している
<p>取組による効果等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育施設やキッズコーナーなどには、ドミノとして山型食パン型やチーズ型など多種・多数の製品を一度に納入できることから、売り上げ増につながる。 ・芯持ち材のため、ヒノキの香り成分の効果が大きい。
<p>製品等の写真、図表</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>並べた様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>芯がマーブル模様に見える断面</p> </div> </div>

連絡先等	(住 所) 〒 766-0015 香川県仲多度郡まんのう町長尾 1594 (担当部署等) 事務局 (電話番号等) TEL : 090-3183-4952 FAX : 0877-79-2932 (URL) http://www.foresters-k.com/
------	--

製品等の名称	ヒノッキン® (ヒノキの手づくり木琴)
製品・取組の概要	これは2012年、1枚のヒノキの輪切りからスタート。 “里山ふれあいプロジェクト” (子供たちへの出前講座) の中で、木と森の話&木の楽器体験 (アルプホルンやヒノッキンなど) を実施。
製品開発・取組のきっかけ	ヒノキの間伐材を活かそうという試みでスタート。 小径木を乾燥させ、挽割って音階をつけ手作り楽器を制作。 材は、我々が活動しているヒノキの森から調達。
製品・取組の内容・特徴	まず、ヒノキの認知度を高めるねらいがある。 子供向けのプロジェクトだが、木に触れ木を使うことの大切さを後ろの大人にも伝えること。 そして、子供の時から木や森が好きになってもらいたいと願う。
間伐材の利用量	1セット/1本
取組による効果等	香川県は地域材としての「かがわのヒノキ」の利用拡大に力を入れており、ヒノキの認知度を高める一助になっている。 また、ヒノッキンの澄んだ音色は子供たちの感性に響くようだ。
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>2音階のヒノッキン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ヒノッキンの打音体験</p> </div> </div>

製品づくり・利用部門

Forest Good 2018 間伐・間伐材利用コンクール

受付番号 35

(会社名・団体名等)

一樹一会

連絡先等	(住 所) 〒878-0013 大分県竹田市大字竹田 1501-2 (担当部署等) 豊肥振興局 農山村振興部 林業・木材・椎茸班 (電話番号等) TEL : 0974-63-1174 FAX : 0974-63-1894 (URL) -
------	---

製品等の名称	竹田トーチ made by 一樹一会
製品・取組の概要	大分県竹田市の若手認定林業事業体（8社）が集まり、一樹一会を設立。会員相互の融和と親睦を深め、研修等を通じて林業に関する技術や知識及び課題について共有し、互いに切磋琢磨することで林業従事者としての資質向上を図りながら地域社会の発展に貢献することを目的に活動中。今回の製品は、その取組の一環として開発・販売されたもの
製品開発・取組のきっかけ	大分県竹田市で開催されている「たけた竹灯籠 竹楽」という行事にあわせ、林業のPRに繋がる取組ができないか検討した結果、竹明かりと似た木材のトーチを作成。
製品・取組の内容・特徴	商品価値が無く山に放置されていた間伐材や未利用材を活用している 普段伐採している針葉樹に加え、クヌギやサクラといった広葉樹の製品も作成している 団体名である一樹一会の焼き印を押している トーチの取扱説明書の中に、使用している木材の説明や、会の理念を記載している ブースにて伐採作業の映像を流すなど、林業のPRにも努めている
間伐材の利用量	H29 年度実績：110 個（約 2㎡）を行事参加者に販売 ※H29 年度から取組開始 原木調達先：一樹一会の会員がそれぞれ作成
取組による効果等	不特定多数の方に、林業のPR と木材利用の意義を伝える事ができた
製品等の写真、図表	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>トーチでお湯を沸かしている状況 (コーヒー販売用)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>林業 PR ブース</p> </div> </div>

<p>連絡先等</p>	<p>(住 所) 〒932-0128 (担当部署等) 木材部 (電話番号等) TEL : 0766-61-4988 FAX : 0766-61-4987 (URL) ① http://www.ecowood.co.jp/index.html ② https://www.mokudeco.info/</p>
<p>製品等の名称</p>	<p>街を彩るモクデコ景観材 ～森の木が街にやってきた♪シリーズ第一弾～ 目隠しパーテーション ドワーフ大杉さん</p>
<p>製品・取組の概要</p>	<p>この製品は富山県産スギ間伐材を使った工事現場専用の目隠しパーテーションです。製品コンセプトは、『外からの視線を遮る壁の役割を担うため、森の木が街にやってきた！街の中で大きな壁を作る役割を担った働く森のドワーフ（妖精）、その名も大杉さん！』です。ご用意いただければ、大杉さんがあなたのご希望の壁を、あなたの街に作りに伺います！</p>
<p>製品開発・取組のきっかけ</p>	<p>弊社は1999年に森を元気にしたい！という思いで立ち上げた会社で、来年創業20周年を迎えるにあたり、日常の暮らしが今よりもっと楽しくなることや、富山県産スギ間伐材を使って自分の地域を他県の方に自慢したくなるような『元気・夢・希望』を形にしたいという社員一同の心からの思いがきっかけで生まれた製品です。</p>
<p>製品・取組の内容・特徴</p>	<p>①サイズ…幅970×高さ2270×奥行550mm / 重量：約15kg / カラー：赤と青 ②大杉さんの任務…大きな壁として街で働くために森からやってきたため、じっと壁になりきっています。そのため例えば大杉さんを見つめても全く動じませんし、瞬きもしません！それは街でみんなの役に立ちたいと思って一生懸命頑張っているからなのです。そっと見守って下さい。 ③地域への思い…弊社の所在する富山県小矢部市は『メルヘンの街』として有名で、メルヘンの街にある工場から生まれた、メルヘンな杉のドワーフ（妖精）第一弾として『大杉さん』が誕生。 ④森への思い…弊社は未来のこどもたちに元気な森を届けるために、木材を利用することにより森を育てる『木でeco活動』、②暮らしに木製品をどんどん取り入れる『木deco生活』、通称『モクデコ』を推進しており、街を彩るモクデコ景観材として開発しました。</p>
<p>間伐材の利用量</p>	<p>樹種：富山県産杉材を使用、1基あたり：0.03m³/基を使用して製作します。 年間 500基（15 m³/年）の活躍を目指しています。</p>
<p>取組による効果等</p>	<p>・工事現場のイメージアップ及び、女性目線での工事現場の職場環境の改善が図れました。（今年の7月よりレンタル及び販売開始。県内の工事現場の仮設トイレの目隠しとして活躍中。） ・北陸工業新聞社発行の建設工業新聞2018/8/21付の記事に掲載されました。</p>
<p>製品等の写真、図表</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="421 1599 935 2024"> </div> <div data-bbox="948 1599 1461 2024"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="469 2056 887 2092" style="text-align: center;"> <p>富山の杉間伐材から生まれた大杉さん</p> </div> <div data-bbox="1066 2040 1340 2114" style="text-align: center;"> <p>工事現場の目隠しとして お仕事の大杉さん</p> </div> </div>